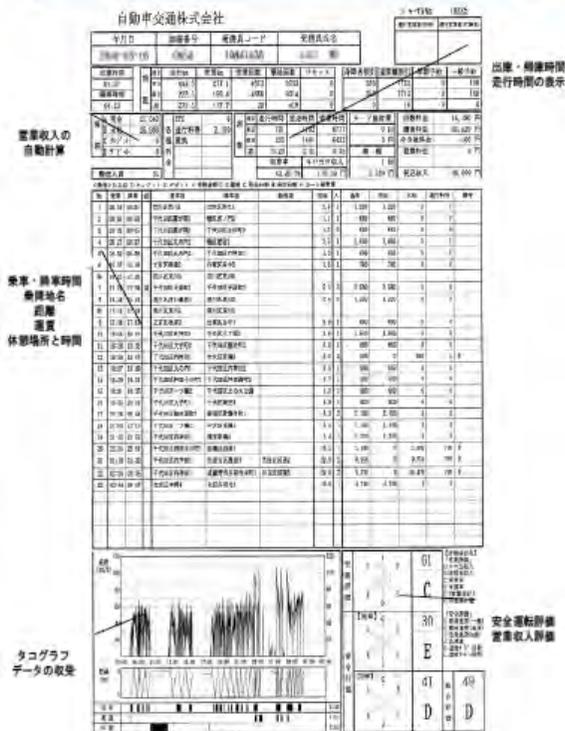


資料2: 安全対策への自主的取り組みの事例

- デジタルタコグラフ等の新技術の活用など、各社で自主的な安全対策の取り組みを行っている。
- 政府の成長戦略では、自動車の自動走行の実用化に向け、公道での実験などを推進し、安全性を高める次世代技術の実用化を支援している。

デジタルタコグラフによる自動日報例



公道での自動運転



テスト車両

デジタルタコグラフとは、運行記録計の一種で車両の運行にかかる速度・時間等を自動的にメモリーカード等に記録する装置。メモリーカード等を解析することでドライバーが法定速度、休憩時間などを遵守しているかを容易に確認でき、事故防止等の安全管理に用いることができる。

「日本再興戦略」改訂 2015では「自動走行システムについては、グローバル市場での競争力強化、交通事故の削減、高齢化の進展への対応等の我が国の抱える課題を踏まえ、2020年代後半以降に完全自動走行の試用開始を目指す」とされている。